## 12/18開幕！「アートで感じる？チンパンジーの気持ち」プログラムの展示を公開します。

会期：令和3年12月18日（土）～26日（日）各日10:00～15:00
※20日（月）休園日

会場：京都市動物園　類人猿舎屋内観覧通路
備考：研究者、アーティストへのインタビューも可能(日程要相談)
取材申込は以下の担当者までご連絡ください。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：水野・草川　　TEL.075-752-2212
FAX.075-752-2233　　Email : info@kyoto-steam.org

京都市
文化庁
令和3年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業
文化庁京都へ
kyoto city zoo 京都市動物園

## 実施内容

遺伝的・進化的にヒトに最も近い動物であるチンパンジーはヒトと同じようにアートを楽しむことができるのでしょうか。この問いに向かって2018年にスタートした本プログラムでは今回、チンパンジーが暮らす京都市動物園の類人猿舎内にチンパンジーの振る舞いをきっかけに、映像作品が変化を見せる展示空間を立ち上げます。

4年目を迎える今回は、人が「つくる」ことに様々な素材・技術を通して探り続けているアーティストの青木陵子＋伊藤存がサイエンティストとの協働により花や蝶などの生き物や自然をモチーフとして扱いながら、チンパンジーのための映像作品を制作しました。アーティストと協働しながら研究を行うのは、飼育動物が快適に過ごせる環境を提供することを目的に霊長類のストレスや行動発達の研究を行う山梨裕美（京都市動物園主席研究員）をはじめ、センサー技術の活用に取り組む吉田信明（公益財団法人京都高度技術研究所主任研究員）など様々な専門性を持つ研究者の方々です。

アートとサイエンス、チンパンジーとヒト。それぞれの境界を越えながら、これまでにないチンパンジーとヒトのコミュニケーションに挑戦し、「ヒトにとってアートとは何か」という根源的な問いに迫ります。

作家の映像作品に反応するロジャー／2020年

アーティストがチンパンジーの生活空間で
作品の素材を撮影している様子／2021年

## 本プロジェクトのみどころ！

### アーティストと様々な研究者による共同制作

様々な専門性をもつ研究者と京都を拠点に活動するアーティストが互いの創造力と知識を駆使しながらコラボレーションし、チンパンジーのための新たな作品を制作します。

### 世界初！チンパンジーのためのインタラクティブアート

2016年にメルボルン動物園（オーストラリア）にてオランウータンを対象にMicrosoftのKinectを用いた実験が行われており、同種のプロジェクトとしては国内初、チンパンジーを対象としては世界発の試みとなります。

### チンパンジーのアクションをきっかけに変容するアート空間

言葉でコミュニケーションできないチンパンジーとヒトが、アーティストの映像作品を媒体にチンパンジーのアクションがきっかけとなり変容するアート空間を創作します。インタラクティブ（双方向）な作品を通じて、これまでにないコミュニケーションに挑戦します。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：水野・草川　TEL.075-752-2212
FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

令和3年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

## 本プロジェクトのための新作！

### 《いまここはどこ》
**2021年**

昨年度から様々な試行にチンパンジーと研究員の方と取り組んできました。その中でチンパンジーが興味を見せる事柄にアンテナをはり、少しずつ素材を集めていきました。本展の作品の素材は、反応が最も大きかった野生のチンパンジーと、チョウや植物、海など自然のものを用いて、映像を組み立てていきました。そして、それらの映像をチンパンジーの動きをきっかけに出現しては消えていくという常に変容する仕組みに挑戦しています。同じ空間が繰り返されることはなく、チンパンジーの動きによって“いまここ”の空間が作り出されるという、なかなか難しいチャレンジですが、偶然が重なってチンパンジーの生活が活性化する時間と空間を作り出すことを目指します。

## 出展作家プロフィール

**青木陵子＋伊藤存**
（あおき りょうこ＋いとう ぞん）

2000年より“描いた絵に動きを与える”というシンプルな欲求からアニメーションの共同制作をはじめた。その後、それは人間の情緒の成長をテーマに、様々なメディアを用いたインスタレーションへと発展し、国内外の多くの場所で発表を続けてきた。また、牡鹿半島での野外展示のプロジェクトからは、人が「つくる」ことを様々な素材、技術を通し探っている。

photo:Masanori Wada

photo: Kazoo Fukunaga

＜9歳までの境地＞
2011年/サイズ可変/ビデオインスタレーション
「世界制作の方法」展覧会風景（国立国際美術館）

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：水野・草川　TEL.075-752-2212
FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

京都市
文化庁
令和3年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業
文化庁 京都へ
kyoto city zoo 京都市動物園

## チンパンジーの環境エンリッチメント

枝を編み込んで、休息用のベッドを作る
コイコとその様子を眺めるニイニ

野生チンパンジーは変化に富んでいます。関わる相手が日々変わったり、ときどき遠征に出かけたり、突然見つけたキノコで遊び始めたり…。そんな好奇心旺盛なチンパンジーの暮らしを再現するために、京都市動物園でも樹木を植えたり、タワーが立てたり、工夫がされています。しかし野生の暮らしほどには世界の変化はありません。近年めざましく発展する映像技術を通して、チンパンジーたちが新しい世界を見ることができないだろうか。そして、触れたり、何かを操作したりすることでその映像を変えることができれば、通常できないようなことも疑似的に体験できるかもしれないのではないか。そんな発想から、映像やセンサーを使った環境エンリッチメントの開発に取り組んできました。今年度は、これまでの経験をもとに、チンパンジーたちのモチベーションがより反映できるようなシステムを目指します。

山梨 裕美（京都市動物園主席研究員）
京都大学卒。理学博士。京都大学霊長類研究所、野生動物研究センターを経て2017年から京都市動物園生き物･学び･研究センターの主席研究員として勤務。飼育動物が快適に過ごせるような環境を提供することを目的として、霊長類のストレスや行動発達の研究を行っている。

## 開催概要

**フェスティバル名**：KYOTO STEAM－世界文化交流祭－
**プログラム名**：アート×サイエンス IN 京都市動物園　アートで感じる？チンパンジーの気持ち

**開催日時**：令和3年12月18日（土）～12月26日（日）※12月20日（月）休園日
10:00～15:00
**会　　場**：京都市動物園　類人猿舎屋内観覧通路
**料　　金**：無料　※ただし、入園料は別途必要
**申　　込**：不要
**協　　力**：京都大学野生動物研究センター
**主　　催**：KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：水野・草川　TEL.075-752-2212
FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

京都市
文化庁 令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
文化庁京都へ
kyoto city zoo 京都市動物園

## プロジェクト・メンバー

**坂本英房**（京都市動物園園長／KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会チーフディレクター）
**青木 陵子 ＋ 伊藤 存**（アーティスト）
**山梨 裕美**（京都市動物園主席研究員）
**吉田 信明**（公益財団法人京都高度技術研究所主任研究員）
**一方井 祐子**（東京大学国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構特任研究員）
**岩城 覚久**（近畿大学文芸学部文化デザイン学科准教授）
**狩野 文浩**（コンスタンツ大学集団行動研究センター主任研究員）

### 関連企画

**【ミニトーク】**
研究者やアーティスト等が、プログラムの舞台裏やチンパンジーの反応についてお話しします。
**日時：令和3年12月18日(土)11:30～ ・25日(土) ・26日(日) 13:30～**　各回30分程度
**会場：**京都市動物園　レクチャールーム
**定員：**各回2 0名(先着)
**申込：**KYOTO STEAMの公式ウェブサイトより（空席があれば当日参加可）
**出演者：**青木陵子＋伊藤存、坂本英房、山梨裕美、ほか

**【発表会】**
本取組みの検証結果の発表とともに、アーティストと研究者らのトークセッション及び総括を行います。
**日時：令和4年2月5日(土) 14:00~16:00**
**会場：**京都市動物園　レクチャールーム
**定員：**40名(先着)
**申込：**KYOTO STEAMの公式ウェブサイトより（申込締切：1月31日（月））

## アートで感じる？チンパンジーの気持ち　プレ動画を公開中（2021年）

今年度のプログラムに関する、アーティストとサイエンティストのお話しと合わせて、試行や作品制作の様子をご覧いただけます。

https://youtu.be/xiAVVxbB20A

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：水野・草川　TEL.075-752-2212
FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

京都市　文化庁 令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業　文化庁京都へ　kyoto city zoo 京都市動物園

## KYOTO STEAM－世界文化交流祭－について

「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」は、「KYOTO CULTIVATES PROJECT」の理念（京都は耕す、育む、磨く）を体現し、京都賞が先駆的に示してきた人類の未来への願いとも共鳴した、アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに開催する新しい文化・芸術の祭典です。

※STEAMとは…Science（科学）、Technology（技術）、 Engineering（工学）、
Arts（芸術）、Mathematics（数学）

## 京都市動物園について

京都市動物園は、明治36（1903）年4月に開園した、全国で2番目に歴史のある動物園であり、市民の皆様から多額の寄付が寄せられ、全国で初めて市民の手によって創設された動物園です。

近年では、「近くて楽しい動物園」を目指し、約7年間にわたる施設整備を進め、平成27年11月にグランドオープンしました。同園では、京都市と京都大学との間で結ばれた「野生動物保全に関する研究・教育の連携協定」をはじめとして、様々な大学や研究機関との連携協定を結び、協働しています。そして、現代の動物園にとって重要な役割である研究や教育を基幹事業として位置付け、平成25年に研究と教育を担う「生き物・学び・研究センター」を全国に先駆けて設置しました。種の保存や動物福祉に関する研究を推進し、先進的な教育サービスの提供を目指しています。

## 画像提供について

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－の広報用画像を貸し出しております。使用を希望される場合は、公式WEBの使用申込書に必要事項を記載のうえ、メールでKYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会までご連絡ください。申込受付後、3日（祝休日を除く）以内に広報用画像をダウンロードできるURLとパスワードを、メールにてお知らせします。3日間を過ぎても連絡が無い場合は、再度ご連絡頂きますようお願いいたします。
また、記事等に広報用画像を掲載される際には、作家名や作品名等を確認しますので、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に実行委員会までご提出ください。3日（祝休日を除く）程度で内容を確認のうえご連絡します。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－公式WEBサイト：https://kyoto-steam.com/

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：水野・草川　　TEL.075-752-2212
FAX.075-752-2233　　Email : info@kyoto-steam.org